

令和4年度
名東区区民ミーティング
実施報告書

令和5年2月18日（土）
名東区役所講堂

目 次

1 概要	1
2 実施方法.....	1
3 コーディネーター及びファシリテーター	1
4 スケジュール	2
5 会場の設え	2
6 プログラム.....	3
7 ワークショップ結果	4
8 投票結果.....	14
9 コーディネーター講評	14
10参加者アンケート.....	15

1 概要

- (1) テーマ 私たちが考える区の取組
- (2) 目的 区将来ビジョン次期計画の策定を見据えて、住民が主体となったまちづくりを推進し、地域が抱える様々な課題等について区民と行政等と一緒に話し合い、解決策を検討するため、ワークショップ形式のミーティングを実施するもの。
- (3) 日時 令和5年2月18日(土) 午前9時30分から正午まで
- (4) 場所 区役所講堂
- (5) 参加者 36名
公募区民(6)、学区推薦者(16)、ナゴ校大学生(5)、PTA協議会(1)、第一生命保険株式会社(1)、中小企業家同友会(2)、区役所職員(5)

2 実施方法

参加者を1グループ7人程度に分け、ワークショップ形式で実施しました。ミーティング全体はコーディネーターが進行し、各グループの話し合いをファシリテーター(進行役)が支援し、グループごとに意見をまとめ、発表しました。最後に、グループごとに出された課題解決のアイデアについて、投票もしました。

3 コーディネーター及びファシリテーター

(1) コーディネーター

浅野健さん((株)都市研究所スぺーシア代表取締役、愛知東邦大学経営学部地域ビジネス学科非常勤講師)

(2) ファシリテーター

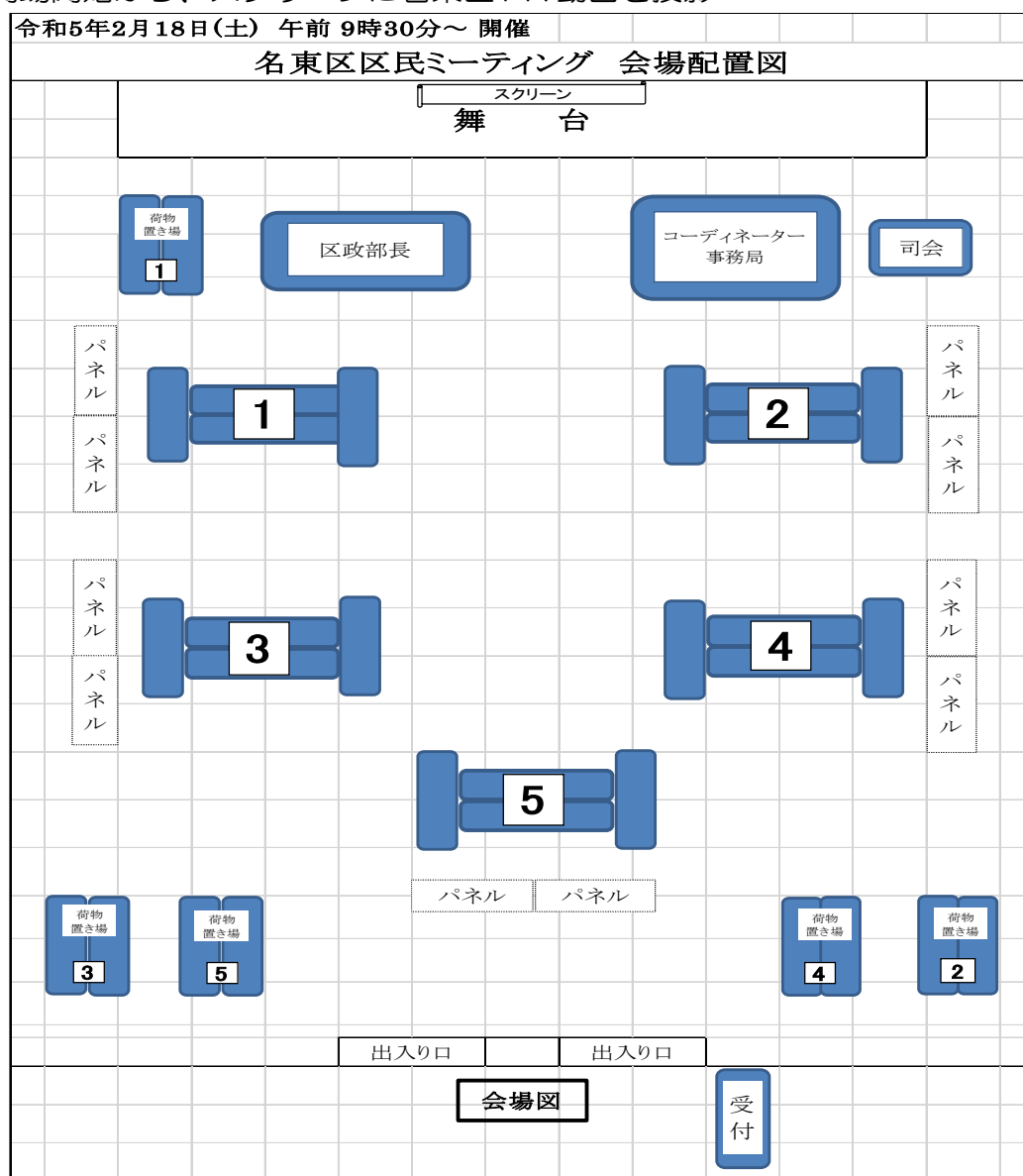
グループNo.	氏 名	所 属 等
分野1	でぐち しほ 出口 志穂さん	名古屋都市センター まちづくりびと
分野2	まなべ やすこ 真鍋 康子さん	名古屋都市センター まちづくりびと
分野3	もりかわ ゆきよし 森川 幸好さん	名古屋都市センター まちづくりびと
分野4	ちば じゅんこ 千葉 順子さん	名古屋都市センター まちづくりびと
分野5	ひさこ ながなわ 久子さん	名古屋都市センター まちづくりびと

4 スケジュール

- (1) 開会 主催者あいさつ、全体説明
- (2) 自己紹介タイム
- (3) ワークショップ1 現状・問題点を洗い出そう！
- (4) ワークショップ2 課題解決のアイデアを出そう！
- (5) 発表
- (6) 講評、閉会

5 会場の設え

- ・ 5つのグループのテーブルと模造紙を貼り出すパネルを配置
- ・ 開場開始から、スクリーンに名東区 PR 動画を投影



6 プログラム

時 間	内 容
9:00～	開場、受付
9:30～	1 開会 主催者あいさつ 全体説明
9:40～	2 自己紹介タイム
9:45～	3 ワークショップ 1 ●現状・問題点を洗い出そう！
10:50～	休憩
11:00～	4 ワークショップ 2 ●課題解決のアイデアを出そう！
11:40～	5 発表
11:55～	6 講評、閉会
12:00	区民ミーティング終了



7 ワークショップ結果

分野1	子育て
「地域で安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり」という視点で話し合いをした。 <名称> ティーンズがつなげる名東一家 <課題> - 子ども会の加入率が下がっている。 - 地域のつながりが薄れていて、その理由として親の負担感がある。 - このグループでは中高生が活躍する場がない、という話題が出た。中高生を担い手にすると、今抱えている課題から脱出できないか。 <対象> - 子ども会の参加者。 <内容> - 子ども会の引率を、親ではなく中高生を担い手に。 - 老人会も中高生が活躍。 - 中高生は SNS の活用でも活躍。 →行政は SNS による情報発信が苦手なので、なおさらティーンズを活用する。 - 中高生へのインセンティブとして、ポイント、地域通貨などアプリを使って還元したり、地域活動を積極的にやっていることを学校にも伝えて評価してもらい、大学への入学のアピールにもつながる。 - 中高生が活躍していることを自ら発信し、下の世代が中高生になった時に新たに地域活動に参加してもらうことにもつながる。 - 地域の企業や商店街も巻き込める。 - 子ども達の現状を行政にも伝えられる。 - 地域で横の関係をつくり、名東区全体で子どもを育てていく。	

※発表者が発言した内容をまとめているため、ワークシートと内容が一致しない場合がございます。

① 【分野1】子育て ワークシートA

地域で安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりを進めます

小見出し 現状と課題点 (※ポストイットを整理して貼る場所)

居場所	子ども園の 施設がある	公園に 子どもが遊び やすい	近所の子育て 支援センター がある	子育て支援 センターがある	子育て支援 センターがある	子育て支援 センターがある
安全	子どもだけで 遊べる遊具が 少ない	公園の安全 対策が不足	公園の安全 対策が不足	公園の安全 対策が不足	公園の安全 対策が不足	公園の安全 対策が不足
イベント	季節のイベント が少ない	季節のイベント が少ない	季節のイベント が少ない	季節のイベント が少ない	季節のイベント が少ない	季節のイベント が少ない
ふれあい つながり	子ども自身は どう思っているか?	子ども自身は どう思っているか?	子ども自身は どう思っているか?	子ども自身は どう思っているか?	子ども自身は どう思っているか?	子ども自身は どう思っているか?
情報 伝達	子ども自身は どう思っているか?	子ども自身は どう思っているか?	子ども自身は どう思っているか?	子ども自身は どう思っているか?	子ども自身は どう思っているか?	子ども自身は どう思っているか?

中学生・高校生に SNS で発信 町を
小学生が一緒にしたいと思える
OB・OG にも肉わり続ける
老人会とタッグ!!

① 【分野1】子育て ワークシートB

地域で安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりを進めます

イキオシの取組・事業提案

名称

子ども会・参加者・企画 企業・店舗・協賛

課題

子ども会の加入率が下がっているのは、役員をその子の「親」に決めつけているからである。親以外で!!!

対象

子ども会...参加者・企画 企業・店舗・協賛

老人会...イベントの引率・企画運営

OB・OGの中高生

内容

イベントや子ども会役員を地域の老人会・OB・OGの中高生が担い、企画運営する。

SNS・ブログ発信、アプリ開発もする。

町内会の枝分かれに「子ども会」があるのを改善・しくみを変更...行政・民役所の役目

地域通覧でインセンティブ

肉わり続けてもらうしくみが大切!!

ネットワーク
つくる!!
(Twitter等)

「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる」という視点で話し合いをした。

<名称>

生き活き 地域を愛する会

「いきいき」は“生”“活”の意味がある。

<課題>

つながりを広げる

- ・「つながり」は、地域のつながりが少なくなり、隣同士も顔を合わせなかったり、特に一人暮らしの男性高齢者が地域とつながりを作りにくいという課題がある。

<対象>

- ・地域のみなさん、若者から高齢者まで。

<内容>

- ・季節の行事を通じて、関係づくりをする。
- ・笑いヨガをする。
- ・健康寿命を延ばすため自然の中を歩く。
- ・朝にラジオ体操をする。→会のメンバーが不参加だと安否確認につながる。
- ・アプリやポイントなどを付けることで、若者もお得感を得られる。

<工夫点>

- ・若いうちから加入することで、年をとっても地域の人達とつながれる。
- ・そこから派生して新たな人と交流を作れる。
- ・定年前後の男性に積極的に案内する。
- ・若者が活動に関わる必要があるものの、高齢者のことを知らない動きようがないので、若い人と高齢者と縦の関係を築く必要がある。
- ・(区に提案) 実際につながりたい人を、アンケートによって把握してもらえるとよい。

※発表者が発言した内容をまとめているため、ワークシートと内容が一致しない場合がございます。

「犯罪や交通事故がなく、安心して安全な地域づくり」という視点で話し合いをした。

<名称>

犯罪や交通事故から地域の弱者（子ども、高齢者）を守る

<課題>

- ・地域の弱者（子ども、高齢者）と地域のつながりが薄くなっている。
- ・戦後だったら地域の人達と顔見知りだったが、今はつながりが薄い。

<対象>

- ・地域住民。中でも子どもや高齢者にフォーカスを当てる。

<内容>

- ・防犯に対する寸劇。
- ・高齢者が集まる場所に対して、学生ともっと連携していく。

<工夫点>

- ・若い人間は SNS で若い人同士でつながれる。高齢者は SNS を苦手とする方が多いが、高齢者同士のつながりはある。それを上手くつなげるため、大学と連携する。
- ・授業として学生が地域の人に講話を行う。
- ・大学に幅広い人達を取り込んで、交流の場をつくる。

※発表者が発言した内容をまとめているため、ワークシートと内容が一致しない場合がございます。

「身近な自然に親しめる環境を守り続ける」という視点で話し合いをした。

<名称>

ぷらっと Green Mate ウ

「プラットフォーム」「緑と仲良くする（Green Mate）」と「名東」を合わせた名称。

<課題>

- ・環境保全に対する理解を深める。
- ・みんなで環境を守っていく。

<対象>

- ・区民、市民、愛知県民など誰でも。
- ・男性の高齢者が外に出るきっかけにも。

<内容>

- ・魅力づくりが重要。
- ・カフェ。
- ・小鳥が食べに来れる木、蝶々（アサギマダラ）など生態系にも配慮。

<情報発信>

- ・各学区のHPに掲載。
- ・ハッシュタグ“#”を活用して、様々な活動を発信。
- ・名東区独自の広報誌を使って発信したい。

<工夫点>

- ・アクセス改善のために、巡回バスを走らせる。
- ・駐車場の確保。
- ・レンタル自転車の設置。

もっと身近に、気軽に来てもらいたい。

※発表者が発言した内容をまとめているため、ワークシートと内容が一致しない場合がございます。

「まちの魅力資源を発掘・活用・発信し、にぎわいと交流のあるまちづくり」という視点で話し合いをした。

<名称>

名東区発信サポーター

<前提条件>

- ・情報を区民に届けることが行政は苦手。
- ・子育てに関する情報を区民が SNS で発信すると「いいね」がたくさん付く。
→情報は区民が発信する方が効果は大きい。

<課題>

- ・発信サポーターをどう集めるか。
- ・地域の情報は高齢者の方が持っている。ただし情報を発信する力が強くない。
→若者は持っている情報が高齢者より少ないが SNS など発信する力がある。この両者をどうマッチングさせるか。

<対象>

- ・区民、区に関わる方。

<内容>

- ・ポジティブな事だけでなくネガティブな事も発信していく。
- ・ネガティブな意見をそのままにするのではなく、改善策について議論し解決につなげる。
- ・個人による情報発信を活かす。

<工夫点>

- ・個人が発信する情報に、区が公式に「いいね」と言ってくれると良い。
- ・地域の情報を持っている人に大学の授業の一環で関わってもらい、情報発信した学生にポイントを与える。大学と行政と連携して取り組んでもらいたい。

※発表者が発言した内容をまとめているため、ワークシートと内容が一致しない場合がございます。

ワークシートA

【分野5】魅力

まちの魅力資源を発掘・活用・発信し、にぎわいと交流のある
まちづくりを進めます

小見出し	現状と課題点 (※ポストイットを整理して貼る場所)
	スポーツの盛んなまち の「にぎわい」 を「認知」させる 発信する魅力 を「発信」 ソノタの活用 を「活用」 まちの魅力を 「発信」する
地域 生活の 活性化	商店街の活性化 を「活用」する （仮称）まちの （仮称）まちの （仮称）まちの
施設の 有効利用	（仮称）まちの （仮称）まちの （仮称）まちの （仮称）まちの （仮称）まちの （仮称）まちの
住民参加	地域活動 を「活用」 まちの まちの
SDGs	SDGsの活用 （仮称）まちの （仮称）まちの （仮称）まちの
魅力の発信	おもしろいまち を「活用」 （仮称）まちの （仮称）まちの （仮称）まちの
	まちの まちの （仮称）まちの （仮称）まちの （仮称）まちの

ワークシートB

【分野5】魅力

まちの魅力資源を発掘・活用・発信し、にぎわいと交流のある
まちづくりを進めます

イチオシの取組・事業提案

名称	課題	対象	内容	工夫点
名東区発信サポーター	発信するサポーターの集め方 情報をもつ人とサポーターとのつなげ方	区民や区に関わる人	発信内容はよいこと悪いこと両方 外国人による発信を活かす	情報発信の 仕組み作り （仮称）まちの （仮称）まちの （仮称）まちの （仮称）まちの （仮称）まちの （仮称）まちの （仮称）まちの （仮称）まちの （仮称）まちの （仮称）まちの

8 投票結果

【分野 1】子育て	6 票
【分野 2】高齢者・障害者	4 票
【分野 3】安心・安全	9 票
【分野 4】環境	7 票
【分野 5】魅力	5 票

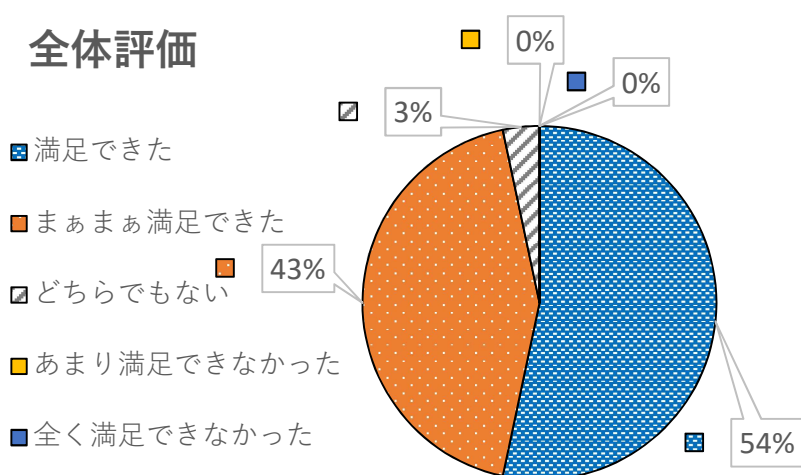
9 コーディネーター講評

学生と連携していく話は様々なグループでも意見が出ていました。ただし、学校の単位、ポイントやアプリなど学生にもメリットとなるようなインセンティブをつけて参加してもらおうという点が重要だという意見が多かったと思います。

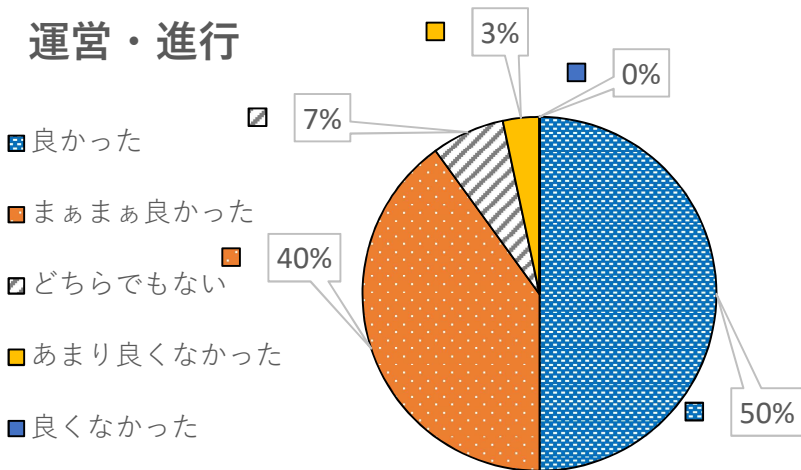
キーワードとしては「つながり」、さらに名東区は魅力的な街なのでそれをいかに「情報発信」するか、そして「若い力」、この 3 つくらいがキーワードだったかと思います。

短い時間の中で密度の濃い話し合いを各グループともしていただきました。本日はご参加いただき、議論に参加していただきありがとうございました。また、進行をしていただいた各グループのファシリテーターのみなさん、どうもありがとうございました。

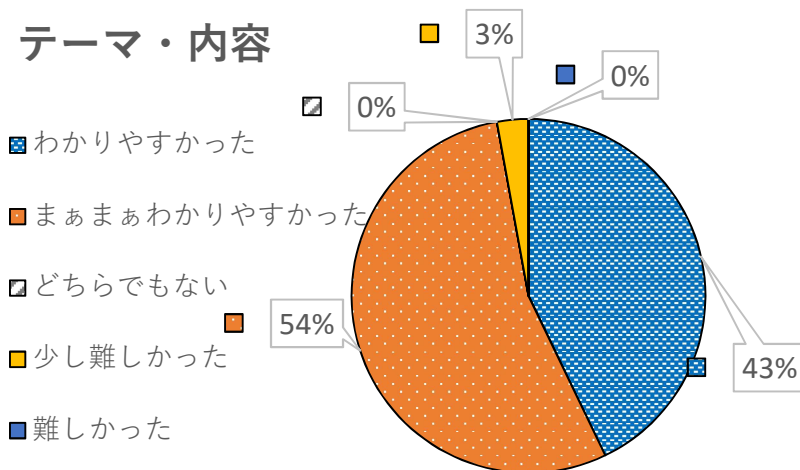
全体評価



運営・進行



テーマ・内容



<主な意見・感想など>

【良かった点】

○幅広い年代、職種の方の意見が聴けて良かったです。つながりが薄くなっている昨今、ほとんどの方がまた色々な世代の方との交流を持ちたいと思っていると実感しました。

○初めて参加させていただき、自分たちが住んでいる街のことを深堀して聞くことができ楽しかったし自分にとってプラスになりました。

○皆が主体的に意見を出せる環境が整っていてよかった。意見を出す→見える化→作り上げることをメンバーでやれるのはいい。

○大学生の立場で名東区にあまり知識がない状態で参加したが、皆と意見を交換することができた。心地のよい環境であった。

【反省点・課題】

○課題や議論の進行が一般論的常識的に推移しがち。名東区の特性、現状を多角的に精査し具体策を議論すべきと思う。

○防犯に関して問題点を1つにしばることが難しく話が広がりすぎてしまった

○この区民ミーティングでの討論過程結論が現実の行政にどう生かされているのか？具体例、その評価をお聞きたい。

○区民として興味を持つ人が増えると良いと思いました。